



# みなみ 園だより 11がつ

令和6年11月1日  
目黒区立南保育園園長

ようやく戸外での活動が心地よく感じられる季節となりました。10月に運動会を終えると、早速4歳児が竹馬、3歳児が天狗下駄、2歳児がぼっくり…というように自分よりひとつ大きいクラスの子がやっていた運動遊びを挑戦する姿が見られます。また、ひとつ小さいクラスの子に教えてあげようとする姿があり、とても誇らしげです。やりとりの中で育つ気持ちの成長や心に芽生える自信を積み重ねていけるといいなと思います。

先日5歳児クラスがお化け屋敷ごっこをしてくれました。「泣いちゃうかな」「怖がる子には優しいおばけになればいいんじゃない」と、どのお客さんにも対応できるように計画し、室内の飾り、衣装、お客さんが楽しめる工夫など、アイデアを出し合い準備していました。当日はとても大好評で、お化け屋敷前の廊下は終始大行列でした。「今混んでるのでお待ちください」「どうぞお入りください」と優しく案内し、お客さんを楽しませてくれました。一人ひとりがその時の状況に合った自分の役割や相手のことを考え立ち振る舞える5歳児クラスの姿を見てとても嬉しく感じました。クラス保育だけではなく異年齢で関わることで、クラス保育だけでは得られない体験をして成長する姿があります。園全体でお互いのクラスの保育内容に関心を持ち合い、一人ひとりの子どものことを職員みんなで大切に考えていける職員集団でありたいと改めて思います。



## 今月の行事予定

乳児お楽しみ会	(0、1、2歳児)
歯科検診	全園児
交通安全教室	(3、4、5歳児)
内科検診	全園児
身体計測 避難訓練	全園児

ピンクのチェーンをいちごに見立てて遊んでいました。

子：「いちごを、パパとスースーパーパーで買ったの」

保育士「スーパーに行ったのかな」

子「うん」

「パパ」と「スーパー」が一緒になったようです。

子どものつぶやき  
(1歳児クラス)



## 稲刈りの様子

(5歳児クラス)



5月の田植えから始まり、暑い夏も水やりや浮き草取りなどをしながら大切に育ててきたお米の稲刈りをしました。「しめ縄も作りたいから稲の下の方を切ってね」と伝えると左手で稲の束を作り、ハサミを器用に動かしながら切っています。切ったものを一回一回運ぼうとする子に「ちょっとためてからもっていけば」とやりやすい方法をアドバイスする子もいて、手際よく作業が進みます。自分の分を早々に終了した子が「手伝っていいかな」と作業をしている子に聞いていましたが、どの子も「自分でやるから大丈夫」と断って“自分の分”という責任感を感じました。まだまだ続く脱穀、もみすりも楽しみながらお米ができる過程を経験していきたいです。



今月は、3・4歳児クラスの散歩の様子をご紹介します。

### 【3歳児 でんでんむし組】

暑さが落ち着き戸外に出られるようになり、虫探しを楽しんでいます。園庭ではなかなか見られないバッタやトンボなど秋の虫が公園にはいっぱいいて、子どもたちは目を輝かせています。先日、南一丁目公園に行くとき「ちょうちょ、まってよ」と蝶を捕まえようと必死に追いかけていました。もちろん簡単には捕まえられません。「どうしてちょうちょ、捕まえられないんだろう」と一人がつぶやくと「そっと捕まえたらいいんじゃない」とアドバイスする子がいました。すると「そっと、って忍者みたい」と言って早速みんなで両手を合わせ、人差し指をたてて、忍者のように忍び寄りました。蝶々の目の前まで近づくと嬉しくなって思わず「わーい」と駆け寄ってしまうので、気づかれて逃げられてしまいました。落ち込むかと思いきや「あっちにいった」「まって、まって」と再び走りだし、捕まえられなくても友達と一緒に追いかけることがとても楽しい様子でした。大好きな虫探しも友達と一緒にすることで、より楽しく感じているようです。

友達同士でこうしようああしようと話したり、考えたりすることも増えてきました。今後も、子どもたちが友達と一緒にイメージを共有したり考えたりして遊ぶことを大切に見守りながら、友達と遊ぶ楽しさが存分に感じられるようにしていきます。また、体力もついてきたので田向公園など遠い公園にも行ってみたいと思っています。



### 【4歳児 こおろぎ組】

田向公園には4、5歳児クラスで一緒に行っています。春は一緒に行っても遊びは別々でしたが、日々の遊びや行事など様々な場面で関わることを積み重ねることで、5歳児に憧れの気持ちや親しみの気持ちを抱くようになり、遊びに入れてもらって一緒に楽しむようになっています。

運動会の後、5歳児クラスと田向公園に行った時は初めて一緒にリレーをやりました。4、5歳混合の白チーム、紫チームに分かれてコースを走りました。やる気満々すぎてコースアウト（短縮近道）する子、走るところが分からなくなりコースアウト（遠回り）する子、負けるのは嫌と最初からあきらめてスローペースの子、5歳児に負けにくいぐらいの本気スピードで走る子、楽しすぎて踊るように走る子、とさまざまな姿が見られました。5歳児の子どもたちはみんなが本気で走り、4歳児をどう配置するかなどチームとしてどうやったら勝てるか作戦を立てていました。

まだまだ自分の勝敗が中心の4歳児ですが、5歳児の子どもたちの姿を見たりいろいろな体験を重ねていく中で多くのことを学び、体と同様に、心も大きく育っていくと感じています。

これからも、散歩先で他クラスの仲間と関わりながら、だるまさんが転んだ、こおり鬼、かくれんぼ、などたくさん楽しんでいきたいと思っています。

